

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（令和5年度採択）

中間評価結果（公表用／ハード分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
2023-4	劣化イメージング技術と磁気・電気化学的技術の融合によるコンクリート橋梁の維持管理システムの開発	香川大学 准教授 岡崎 慎一郎	B
<p><研究の概要></p> <p>RC や PC 橋梁等コンクリート構造物の劣化懸念箇所のイメージング技術、内部の鋼材の腐食速度評価、鋼材の破断の有無の検知といった3つの手法を融合させることで橋梁の高度な維持管理システムを開発し、国内外の実装を目標とする。</p> <p><中間評価結果></p> <p>それぞれの要素技術には優れた成果が得られている部分があるものの、要素技術をどのように融合して維持管理システムを構築するかを明確にする必要がある。よって、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項等></p> <ul style="list-style-type: none">・既往の技術と比較し本提案手法の優位性を示されるとよい。・当初目標とした検出精度などを達成できるように研究開発を進めていただきたい。・当初計画した統合的維持管理システムの構築はやや難しいのではないかと懸念があるので、今後の計画を精査し見直してほしい。今後の国際展開にも言及されているが、まずは、しっかりした統合的維持管理システムの構築を目指すことに専念すべきと考える。・赤外線・抵抗値・磁気による3種類のデータを「統合的に管理するUIを開発し、各種診断を自動的に行い、カルテを作成する」との記述があるが、その総合診断評価について、具体的な評価手法の記述を望む。・本研究での成果が機器のコンパクト化まで進み、より現場で使いやすいシステムとなることを期待する。			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第49回新道路技術会議において審議したものである。